日本カナダ学会関西地区便り

(JACS Kansai Regional Newsletter)

第 101 号
2016 年 6 月 11 日

発　行　人: 水 戸 考 道
編　集　人: 大 岡 栄 美
eooka@kwansei.ac.jp

『日本カナダ学会関西地区便り』第 101 号

－発刊に寄せて－

水戸　考道・大岡　栄美（関西学院大学）

この度、関西地区事務局をお引き受けすることとなりました会員の水戸考道です。同僚である大岡栄美会員とも事務局として、ニュースレターの作成やら研究会を立ち上げてゆくことになりました。二人ともこのような大務は経験も浅く、間違いや失敗も多いかと思いますが、皆様の暖かいご支援とご理解を頂ければ幸いです。と同時に長らく私たちのために事務局と研究会を運営されて、そして第１００号までニュースレターを発行してくださった杉本公彦先生、草野毅徳先生、有り難うございました。心から深く感謝申し上げます。また大変お疲れさまでした。未熟でネットワークの狭い私たちです。ぜひ今後とも引き続きご指導とご高配のほど宜しくお願い申し上げます。

なお今度の研究会では自称カナダの料理屋にて懇親会をするとともに、その後カナダ人経営のバーのほうへもお連れしたいと考えております。ぜひ皆様お誘い合わせの上ご参加ください。詳細は下記をご覧ください。多くの方のお会いできるのを楽しみにしております。

私の研究室から in 関西

真田桂子（阪南大学）

カナダのフランス語圏であるケベックの研究を始めて久しいが、地域研究の特徴として、必然的に複数の分野をまたぐ横断領域的な研究が求められ極めて刺激的である。とりわけケベックは、社会的、政治的に複雑な諸問題を抱え、文学や芸術はそれらを鋭く反映している。ここ数年は、ケベックと同じフランス語圏の多言語社会であるベルギーとの比較研究に関心を持ち、ベルギー研究会とケベック学会との合同研究会を何度か開催している。

また 2015 年春号の国立民族学博物館が発行する雑誌『季刊民族学』(vol.152 号)において、カタルーニャやスコットランドで独立をめぐる国民投票が相次いだことをうけ、ナショナリズムの顕揚が見られるカタルーニャ、スコットランド、バスク、ケベックを比較検証する特集（「西洋社会の多様性」）が組まれ、ケベックについての章を執筆した。このようにケベックを他の地域と比較研究したり、世界的な文脈のなかで検証したりすることがますます重要になってくると思われる。ケベックはかつては辺境の地というイメージで捉えられることが多かったが、今日では、例えばシルク・ド・ソレイユなどに見られるように、とりわけ芸術や文学においては先進的な文化が発祥するユニークな地域として世界的にも注目を浴びている。今後もケベックを世界的な文脈におけるトランスナショナルな視点からとらえ、フランス語圏の側から発信するカナダ研究を行っていきたいと思っている。

【真田桂子　プロフィール】

大阪大学文学部卒。大阪市立大学文学研究科博士課程修了。モントリオール大学大学院に留学。博士(文学)。現在　阪南大学流通学部教授　専門　文学研究、文化研究、カナダ・ケベック地域研究。主要著書『トランスカルチュラリズムと移動文学ー多元社会ケベックの移民と文学』(彩流社)、主要訳書『わが心の子らよ』ガブリエル・ロワ(彩流社)

私の教室から in 関西

水戸　考道（関西学院大学）

本学カナダ研究・交流担当教員として毎学期「カナダ研究入門」A および B をコーディネートしています。関西学院大学はアメリカの南部メソディスト教会の支援で創設されましたがその後カナダのメソディスト教会も経営に参加するようになり、特にカナダとの 100 年以上になる交流・その影響は多大であります。例えば毎年英語圏に留学する７００人強の本学生の多くはカナダの協定校で学んでおり、その数は毎年４００名を超します。

留学前後にもっとカナダについて学びたいという学生も多数で、毎学期開講している「カナダ研究入門」の受講生は多い時には５００名近くに達することもあります。今学期は２８０名ほどです。学内外のカナダ専門家による学際的リレー授業で、今学期は私自身の３つの講義他に、カナダの法制度に関しては木村仁・本学法学部教授、カナダの社会に関して志甫啓・本学国際学部副学部長および春学期のカナダ研究客員教授である地理学の Elizabeth Donald クイーンズ大学教授、そしてカナダの政治と外交に関してはオタワで活躍されている本学の OG でもある木村裕子先生のほか、ケベック事情については真田桂子阪南大学教授および友武栄里子先生が専門授業をご担当してくださっています。

この他 Douglas Morrow 弁護士および Matthew Fraser 在名古屋カナダ領事(写真)がゲスト・スピーカーとしてご参加くださることになっております。盛り沢山で、学生たちが様々なカナダを学ぶ機会を提供できるよう努めています。

【水戸考道 プロフィール】

国際基督教大学卒・筑波大学大学院修了、博士（法学)。シティコープ投資銀行・ケンブリッジ大学・ロンドン大学・モナシュ大学勤務後、九州大学・香港中文大学・早稲田大学教授を歴任。２０１０年より関西学院大学全学カナダ研究・交流担当教授。博士論文に基づく State Power and Multinational Oil Corporations: The Political Economy of Market Intervention in Canada and Japan (Kyushu University Press, 2001)は日本学術振興会・科学研究成果出版賞を受賞。２０１１年より関西学院大学、Mt. Alison 大学、トロント大学、クイーンズ大学が共同設立・運営している Cross-Cultural College の構想責任者、チーフ・アカデミック・ディレクター。)

Canadian Researchers in KANSAI

Elizabeth　Donald（Queen's University）

My name is Dr. Betsy Donald and I am a Visiting Associate Professor in Canadian Studies at Kwansei Gakuin University for the April – July 2016 semester. I am seven weeks into my teaching Canadian Studies at Kwansei Gakuin and so far it has been most enjoyable. The students are from all over the world – Japan, China, Korea, German, Sweden, Canada. Many of the Japanese students have already been to Canada on exchange and bring a very interesting perspective, having lived in some of the coldest and remotet cities in Canada! They are an engaged group and seem genuinely interested in the Canadian story. We talk much about the benefits of immigration to Canada as well as the stresses of climate change, controversial resource development issues, and the Indigenous Peoples of Canada. I find their questions fascinating and their insights give me a new perspective on the Canadian story too.

I teach two courses on Canada: one on the regional geography of Canada and the other on Canadian cities. In the regional geography class we cover the physical and human geography of Canada's diverse regions: Ontario, Quebec, British Columbia, Atlantic Canada, Western Canada and the Territorial North. We cover each of the region's defining characteristics, history, course of development and place within the nation. It seems to be a good course for students with little introduction to Canada and would serve well to those interested in international relations. In the cities course we tackle the challenges and opportunities of living in Canada's urban landscape. Despite Canada's reputation as hewers of wood and drawers of water, over 80 percent of people in Canada now live in cities along the Canada-US border – particular Vancouver, Toronto and Montreal. I am a geographer and urban planner by training, so we spend sometime on the very practical side of making Canadian cities more sustainable. It is here where we can learn a lot from Japan, given the density of the population and the efficient use of space.

In fact, I am learning so much about Japan. This is the first time to the country and I brought along my family as well. My teenage daughters are in international school and are also really enjoying their experience, taking Japanese classes and learning how to ride the trains. Just riding the trains and engaging with the culture, I can see how important harmony of the group is in Japanese society. The people are very kind and polite which is something I find so beautiful and makes living in close quarters so much easier. As Canada becomes more urbanized and diverse we can learn a lot from our Japanese friends.

注：エリザベス・ドナルド先生のプロフィールは研究会のお知らせと併せて掲載しています。

＝＝関西地区　春の研究会のお知らせ＝＝

日　時　:　　2016 年 6 月 18 日（土）　午後 3 時半より
場　所　:　　関西学院大学　H 号館 303 教室
兵庫県 西宮市 上ケ原一番町１－１５５
（阪急今津線甲東園駅下車、バス 5 分）

注意事項

- 上が原キャンパスへの交通アクセスは http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html をご参照ください。
- キャンパスマップは http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_001086.html です。

◇　講演者とテーマ：

発表 1　Food in Canadian Society
報告者　Elizabeth　Donald　カナダ・クイーンズ大学準教授・2016 年春学期関西学院大学カナダ研究客員教授

Bio: Betsy Donald is an Associate Professor in the Department of Geography and Planning at Queen's University. She is also a Member of the Canadian Institute of

Planners and a Registered Professional Planner. She teaches, does research and consults in the field of geography with a particular focus on innovation and regional economic development, urban planning, and sustainable food systems. She has degrees from McGill (B.A. History), York (M.E.S. Environmental Studies) and the University of Toronto (M.Sc.Pl. Planning, Ph.D. Geography). She has over 45 publications including articles in the *Journal of Economic Geography*, *Urban Studies*, *Regional Studies* and *Environment and Planning A*. She is currently a research associate at the Cambridge Judge Business School and an editor of the *Cambridge Journal of Regions, Economy and Society*. Betsy has had many Canadian Social Science and Humanities Research Council (SSHRC)-funded research projects and won awards for her research including the Governor General's Academic Gold Medal. In 2016 she was awarded the Julian Szeicz Teaching Award at Queen's University.

発表２　Creating Canada: The Emerging nation and the Nations Within (カナダにおける先住民に関する法体系の展開)
報告者　Douglas Morrow 弁護士（元クイーンズ大学法律顧問）

Bio: Doug Morrow is a Canadian lawyer who has studied and worked in the area of Aboriginal rights in Canada for many years. He holds a B.A. (Hons) in Sociology and Political Science from Glendon College, York University, a Master's degree in Environmental Studies from York University, and in 1993 he received his LL.B. from Osgoode Hall Law School along with the Blaney McMurtry prize in First Nations and the Law/Rights of Indigenous People. He was called to the bar for the Province of Ontario in 1995 and for many years provided trial and appellate legal counsel in Toronto. More recently, he worked at Queen's University as a senior administrator in labour relations. Doug has always had a deep interest in public policy and has provided consulting services on a variety of public policy issues for a wide range of public-sector and NGO clients. He is currently President of the renowned Canta Arya School for Strings, and owner of The Singing Bridge, his violin-making shop. Doug presently lives in Kingston, Ontario, with his wife and two children.

｛ 懇 親 会　/　歓送会をかねて ｝

研究会終了後、可能であれば神戸市内のカナダ料理・レストラン、ブルーミンメド―（神戸市東灘区本山中町２－９－２９　電話０７８－８８１－２０７５）にて懇親会を実施したく存じます。万が一、当日満席になってしまった場合、余儀なく場所を変更せざるを得ない場合もありますのでその場合はご了承願います。事前予約をできるだけ早くいたしたく、参加ご希望者は研究会幹事の水戸へメールにて遅くとも１５日までにご連絡願います。その後あるいは当日ご参加したい方はレストランの方で余裕がある限り対処いたします。

連絡先　：　関西学院大学　法学部　水戸考道研究室
Tel：090-7177-8377/ E-mail：takamichimito@hotmail.com

今回は皆様の親睦を中心としたいと考えております。夕食後もしエネルギーがのこっておりましたら、三宮のカナダ人経営のバーのほうにも希望者のみお連れしたいと思います。どうぞ皆様お誘いの上ご参加ください。

関西地区便り101号発刊にむけて

杉 本 公 彦（大阪学院大学）

2016年3月31日をもって筆者は、関西地区事務局の代表者から退かせていただきました。『日本カナダ学会関西地区便り』の発行人として、（第 23 号）から、JACS 会長時代の 4 年間を除いて（第 100 号）まで、前編集人草野毅徳・名誉会員とともに続けてまいりました。これまで長年にわたって賜りましたご厚情に対し皆様に感謝申し上げます。4 月 1 日から関西地区事務局は関西学院大学に移管され、代表者には水戸考道会員が就任されることになりました。彼を中心に今後は地区活動がなされていくことでしょう。

『日本カナダ学会関西地区便り』第 101 号の発刊にむけて、筆者なりにひとことお願いをさせていただきたいことがございます。会員の皆様には今までと同様に温かく新事務局をお見守りいただき、ご協力をいただければと願う次第であります。そのことがボランティアで裏方のお仕事をなさることになる事務局の方々にとって最高の励みとなるからです。

地区活動が活発に機能していくためには、皆様おひとりお一人が日本カナダ学会に参加し、そのことを通して得た経験、ご自身の研究分野との関わり、学会仲間との交流で特筆すべき点などどのような記事でも『日本カナダ学会関西地区便り』に投稿していただき、時には研究会例会やシンポジウムで報告発表されることが重要と考えます。このことは取りも直さず皆様ご自身の益々の研究発展の種を見つける良い機会となるものと信じます。

最後になりますが重ねて、今後もできる限り多くの方々にご意見を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【杉本公彦 プロフィール】

1989 年 11 月 11 日（第 23 号）より 2015 年 11 月 15 日（第 100 号）発行人。
2010 年 4 月 1 日より 2014 年 3 月 31 日まで日本カナダ学会会長。
2014 年 3 月 31 日大阪学院大学定年退職　商業史・経済史担当（経済学博士）。
2014 年 4 月 1 日大阪学院大学商学部名誉教授。

関西地区の新しい進展を期待して

草野毅徳（神戸学院大学）

『日本カナダ学会関西地区便り』第 101 号が、このたび関西学院大学の水戸考道先生と大岡栄美先生によって編集発行される、との報に接し大層嬉しくありがたく思います。本部ニュースレターと肩を並べる会員情報網により、中部・関西地区を軸に西日本全般にわたる領域を網羅し、本学会の枠を超えてカナダと関係するいろんなグループの活動が紹介され激励されることは、日加関係の向上に極めて有意義なことと推察する次第です。関西地区は、殊にカナダと日本の、民間交流が盛んな地域であり、歴史がありますので、両国間の情報交換・発信・披瀝は、会員各位の活動を更に高進させるものと期待されます。また文章中に写真や挿し絵等が挿入されますと、報文の内容を視覚化させ、親しみと暖かさが倍加され、書き手と読者との間に暖かい交流が生まれると推察し、お勧め申しあげます。100 号までの編集人の一人として謝辞を兼ねて一言ご挨拶申しあげる次第です。　　合掌

【草野毅徳　プロフィール】

京都大学農学部博士課程修了後、1968 年 4 月神戸学院大学栄養学部に奉職、2009 年 3 月定年退職。神戸学院大学名誉教授。この間、1982 年 2 月から 1983 年 2 月までカナダ･マニトバ州立マニトバ大学農学部において小麦たんぱく質の研究に従事し、帰国後日本カナダ学会会員となり、「カナダにおける穀物産業」をメインテーマとして研究・開発・交流に取り組んできた。その間当学会の理事や会長をお引き受けし、名誉会員をも拝受した。

関西学院大学　社会学部　大岡栄美
eooka@kwansei.ac.jp（0798－54－4546）
〒662-8501 兵庫県西宮市上ケ原一番町１-１５５
関西地区事務局

編集後記

『日本カナダ学会関西地区便り』第 101 号から編集を担当させていただくことになりました。私自身、関西に来て 7 年経ちますが、関西地区におられるカナダ研究に連なる諸先生とのネットワークがまだ弱く、このたびのニューズレターの編集を通じ、少しでも皆様とお近づきになると同時に、会員同士の新たな架け橋になれればという思いから「私の研究室から in 関西」・「私の教室から in 関西」・「Canadian Researchers in KANSAI」という 3 つの新たなコラムを始めさせていただきました。

会員の諸先生には今後原稿のお願いをさせていただくことがあると思います。ぜひ奮ってご登場いただき、関西地区便りを盛り上げていただければ幸いです。

大岡栄美（関西学院大学）